【褥瘡対策】

褥瘡対策委員会　臨床指標（2025 年度）

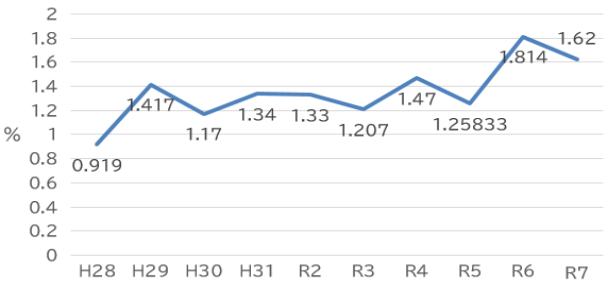
当院値の定義・算出方法：

$$\text{褥瘡推定発生率（\%）} = \frac{\text{調査日に褥瘡を保有する患者数-入院時に既に褥瘡保有が記録さていた患者数}}{\text{調査日の施設入院患者数}} \times 100$$

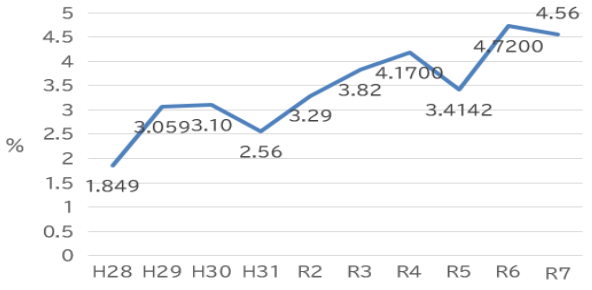
$$\text{褥瘡有病率（\%）} = \frac{\text{調査日に褥瘡を保有する患者}}{\text{調査日の施設入院患者数}} \times 100$$

院内褥瘡対策の現状：

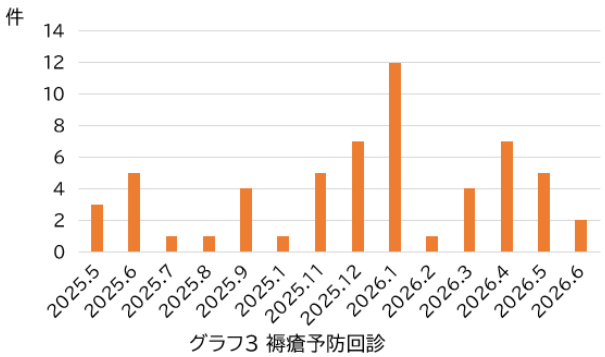
入院時及び患者の状態変化に応じ、病棟褥瘡専任看護師が中心となり、褥瘡危険因子評価、リスク評価を行い、薬剤師、管理栄養士、リハビリスタッフと協力し体圧分散寝具の選択や、ポジショニング等を行っております。今年度 5 月から褥瘡予防回診を再開致しました（グラブ 3)。回診では、薬剤、栄養、体圧、スキンケア管理に注力しつつ、NST と委員会の共同開催の場面で情報共有と早期の褥瘡治癒、悪化予防を目指した活動を行っております。(グラフ 1，2)　その結果、褥瘡推定発生率は、昨年から-0.19%（グラフ 1）減少できました。スキン - テアは、グラフ 4 の通り、カテゴリー 1 a, 2 a が増加していました。皮膚の保湿、保護と基本的スキンケアが提供できるよう取り組んでいきたいです。



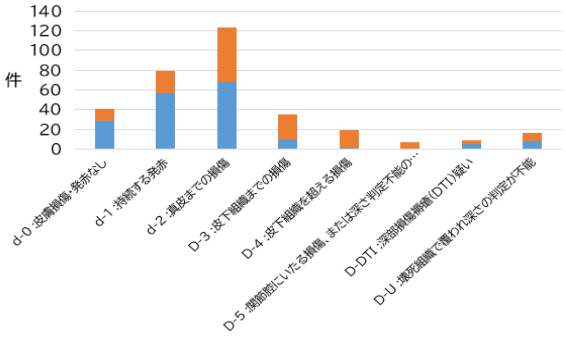
グラフ1褥瘡推定発生率



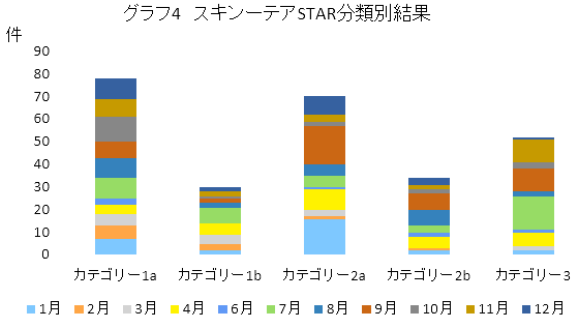
グラフ2褥瘡有病率



グラフ3 褥瘡予防回診



グラフ4 2025年度褥瘡報告実績　深達度別結果



グラフ4　スキンーテアSTAR分類別結果

（褥瘡対策委員会）